

月のことば (674)

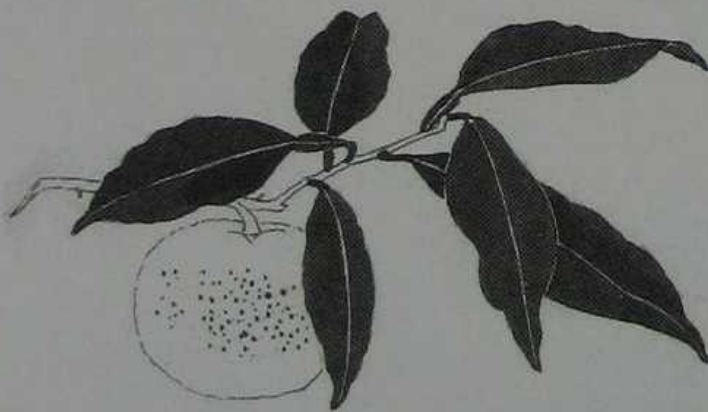
最近、食品表示偽装の報道が日常茶飯事になり、今の商道徳が廃れた実態に対して、嘆かわしいと思うだけでなく、消費者としても見る眼が必要であると感ぜられます。

近江商人の家訓に、『三方よし』があります。「売り手によし」、「買い手によし」は普通の商売の常識、それに「世間よし」を加えたのが『三方よし』です。これは、商売によって社会全体の幸福につながるという意味です。

近江商人は浄土真宗の門徒が多く、人々の生活の中に阿彌陀さまがあり、「有難い」、「もったいない」、「お陰さま」と、すべてに喜ばせていたばかりがありました。その「信心」が遠い地方でもさまざまに繋がりができたのです。信用第一が商取引の心、しかし競争心を煽り反社会的な行動に走らせる時代も考えものです。

世の中どうも変だ

競争心を煽り過ぎ



春季彼岸会法要 3月23日(日) 午後2時より

講師：北畠 晃融 師 是非ご家族揃ってお参りください。